

震災井戸水のペットボトルの販売を！

村山秀貴(民主党)

①震災が起きた場合の備えである防災備蓄倉庫の現状はどうなっているか？

防災交通課長 市内には24個の備蓄倉庫と8個の防災倉庫があり市民防災地図という形で周知している。内容は食料品や医薬品など多種多様であり総合的に検討していき



であるが市も協力して「名水黄金井」で小金井ブランドのペットボトルをするべき。

総務部長 (ア)市にある給水拠点3か所の水量は豊富。また井戸所有者と震災対策井戸の指定及び管理に関する協定も締結して、現在、備蓄するという考えはない。(イ)ブランド名については良い考えだと思ふ。他市等の状況も含めて、今後の研究課題として、その他に小金井市公会堂閉館に伴う代替施設の確保状況について質問しました。

全市民の公益に寄与する農業の維持のために

伊藤隆文(自由民主党)

①都市農業の公益面での役割は(ア)温暖化抑制、都市環境保全に農業緑地が補完、農地減少と計画生産育成は、(イ)新鮮野菜等で市民の健康や食育に貢献、学校給食・農業体験は、(ウ)災害時に貢献、農協との協定は、(エ)相続税納税猶予の適用時の生産緑地再指定



は、農地を災害時に公共提供でも猶予は解除か。(イ)農業基本条例を制定し市・市民・農業者の責務を、(ウ)都条例の野焼き禁止例外規定は、(エ)農地等の不法投棄ごみ処理は、(オ)中央線高架下に地元農産物直売所の確保は、(カ)認定農業制度は、(キ)ビニールハウス建設農薬・埃飛散防止等環境配慮

市長 ①農業は基幹産業として守らなければならない。昨年3ha減少。苗木無料配布(イ)農家の協力で収穫体験や料理講習会。(カ)支部座談会にて提案。(キ)都で補助している。

総務部長 ①(ウ)協定で組合員農地の活用、生鮮品の購入

環境部長 ①(ア)4件再指定

②(ウ)農業者の病害虫防除は知事が認める焼却と運搬解釈。(エ)土地管理者。市に相談を。

都市建設部長 ②(オ)検討中。



楽しい企画がいっぱいの貫井南センター

小金井のアスベスト対策を問う

紀由紀子(公明党)

今、また改めてアスベストの恐しさを再認識している。子どもたちの安全対策、公共施設についても万全を期してもらいたい。

(ア)市内の小中学校や公共施設の現状は、どうなっているのか (イ)その対策と今後の対応について (ウ)国や東京都に



対策強化を求めないか。

企画財政部長 (ア)調査を行い、6施設に使用されており一定の改修措置を行っている。緑小学校及び貫井南センターにおいては、除去の必要があると判断し、緑小学校は既に終了、貫井南センターは、9月12日から除去工事を行う。(イ)市有の全施設について吹き



いざという時の備蓄倉庫

インターネットの活用でサービスの充実を！

宮下 誠(公明党)

①近年IT化が進む中で、各自治体はインターネットを活用して様々なサービスを展開している。防犯・防災情報について、本市のホームページや登録希望者携帯メールを通じてリアルタイムに情報を提供できないか？

総務部長 防犯については、



防犯情報のメール配信が警視庁事業として行われている。警察署で申し込み活用できる。利用してもらいたい。

ホームページは今後各課対応となるので、例えば防災交通課など担当部署で11月を目指し十分な対応をしていきたい。

②松本市の西部給食センターではアレルギー食専用の調理場を設置している。本市の小学校のアレルギー対応給食について更なる改善を求める。

教育部長 平成16年度の実態調査では、小学校で38人の児童がアレルギー食対応の対象となっている。原則的にはアレルギー食材を取り除く除去食だが、調理が可能であれば代替食で対応している場合もある。各校とも、限られた設備・人員の中で様々なアレルギー食材の対応に懸命に努力しているのが現状。更なる充実には検討課題としたい。

高齢者福祉施設と認可保育園の増設を

関根優司(日本共産党)

①稲葉市長は平成12年3月に、平成16年度までに高齢者在宅介護支援センターを5か所、高齢者在宅サービスセンターを7か所市内に建設するという計画を立てたが、その後計画を取り下げしまった。(ア)市内西北地域に高齢者在宅サービスセンター等の建設の

企画財政部長 (ア)市内西北地域における福祉施設等の建設については、その必要性や重要性は十分認識している。今後研究を重ねてまいりたい。

市長 (イ)地域センターの建



設、高齢者福祉の総合センター、北町集会所の建て替えと、そんなに簡単にできる話ではない。財政と相談しながらやらなければならない。

②認可保育園を申し込んで入れないお子さんが149人いる。本来なら公立保育園を増設すべきだが、少なくとも私立であつても認可保育園をきちんと増やすべき。

福祉保健部長 保育園を1園増やす考えに立っている。その他に「憲法9条について市長に質す」を質問した。

図書館の改革を進めよ

五十嵐京子(改革連合)

6月に図書館協議会から図書館の運営体制等の見直しについて答申が出された。答申の中の、(ア)開館時間の延長について、(イ)職員体制の見直しに、市の見解は、(ウ)今年度から図書検索を家庭のパソコンからできるサービスがスタートした。現在小金井市



では市内5大学と連携し、各大学の図書の閲覧ができるようになっているが、市のホームページからも各大学の図書検索ができるようサービスを拡大しないか。(エ)図書館の狭さを解消する為、思い切った蔵書の精選、分館との図書のすみ分け、またリフォームなどを検討しないか。



情報がたっぷりのホームページ

教育部次長 (ア)開館時間の延長は、火曜から金曜の平日午後8時までの開館を、来年度に向け内部協議している。(イ)正規職員を減員する中で非常勤嘱託職員を採用し、サービス拡大を図っていききたい。(ウ)なるべく早い時期に進めていききたい。(エ)難しい問題だが、引き続き検討したい。今後地域の読書活動の基盤整備に重点をおきながら、図書館運営の改善を図りたい。

他に「地域への緊急情報提供について」を質問しました。